

事業所名 済生会明和病院なでしこ（児童発達支援）

支援プログラム

作成日：令和 7年 1月 22日

法人（事業所）理念		みんなを笑顔に。ともに歩み、ともに育ち、ともに生きる。							
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全と安心を基本とし、個々の成長や特性、個性に合わせた活動プログラムを提供します。 ・「その人らしさ」を大切に、良いところを引き出しながら心身の発達に繋がる支援を提供します。 ・一人ひとりの「やりたい、やってみたい」という意欲を大切に、楽しみながら共に成長できる環境作りを目指します。 							
営業時間		9 時	分から	17 時	分まで	送迎実施の有無	あり	なし	※ 要相談
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・利用前に保護者に家庭での状態や家族の健康状態の確認と視診を行い、個々の情報把握に務め、受け入れを行います。（バイタルチェック、検温、Spo2測定、身体チェック） ・利用中は定めた時刻での定期的な検温にて心身の健康状態の把握を行うとともに、医療的ケアを含め、個々に必要な対応を行います。 ・集団活動において、体操等の基礎的な運動を取り入れ、体力の維持や運動能力の向上を支援します。 ・睡眠や食事、排泄等の基本的な生活習慣や生活リズムが身につけられるよう、保護者と連携しながら取り組みます。 ・個々の機能に合わせた食事提供を行い、楽しく安全に食事が摂れるよう支援します。また、口腔内機能にも配慮し、個々に応じた姿勢や自助具等に関する支援を行います。 ・日常生活や社会生活の自立に向けて、それぞれの個々に適した身体的、精神的、社会的訓練を行います。 ・身の回りを清潔にし、食事や衣類の着脱、排泄等の基本的な生活動作を獲得できるように、個々の発達状況に合わせた支援を行います。 ・決められた場所で安心して過ごすことができるよう、活動等の遊びを通して全体の状況や流れが習得できる環境設定、支援を行います。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・体操や感覚運動遊び等を通し、姿勢保持や運動動作の改善及び習得、筋力の維持・強化を図ります。（体操、ストレッチ、運動遊び等） ・姿勢保持装置等の様々な補助用具等の補助的手段を効果的に活用して、姿勢の安定や操作性の向上等を目指した支援を行います。 ・自力での身体移動や歩行、歩行器や車椅子による移動など、日常生活に必要な移動能力の向上のための支援を行います。 ・日常生活の中で様々な身体の動きが経験できる機会を設定し、姿勢の保持や下肢の連動した動きが獲得できるように支援します。（トランポリン、バランスボール、ブランコ等） ・個々の身体機能に合わせた運動遊びの中で、粗大運動を通して五感（視覚、聴覚、触覚、前庭覚、固有感覚）を総合的に活用できるよう支援し、姿勢保持や力加減、バランス感覚等の向上を促します。（トランポリン、バランスボール、ブランコ、リズム遊び、楽器、手遊び、体操、ストレッチ、感触遊び等） ・感覚器官の機能を活用して状況を把握しやすくするよう、眼鏡や補聴器等の補助機器を活用できるよう支援します。 ・活動や遊び等の経験（粗大運動、微細運動）を通して視覚や聴覚、固有感覚等を統合的に活用し、身体機能だけでなく集中する力や持続する力、コミュニケーション能力に繋がるよう支援します。 ・屋内外の活動を取り入れ、安全に楽しく活動が出来るよう場面や季節に応じた遊び等を設定し、個々のペースで経験の幅を広げていきます。（創作、散歩、季節の行事等） ・感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行います。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の障害特性に応じた視覚や聴覚、触覚等の感覚を十分に活用し、必要な情報を獲得しやすいよう、色や音、絵（写真）や文字、道具を用いて認知機能の発達を促す支援を行います。（タイムテーブルの確認による時間の認知形成、日付や天気の確認による感覚や数の認知形成等） ・活動時のルール等を含めた情報を理解しやすいよう視覚化することで、必要な情報を自己選択し、見通しを持った行動に繋がるよう支援します。 ・活動（創作やゲーム等）を通して、数量の予測や大小の選択、色の認知等を完成までの行動や手掛かりとして活用ができるよう支援します。 ・感触遊び等でいろいろな質感の違うモノに触れることで、物質の変化と感覚の認知形成を促す支援を行います。 ・散歩活動を通して季節の変化への興味などの感性形成を促す支援を行います。 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・活動（朝の会や帰りの会等）の中で、具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行います。 ・自分のしたいことを伝える、手伝ってほしい時に援助を求め等、集団生活の中で必要な行動を適切な場面で発揮することができるよう支援します。 ・個々の特徴やニーズに応じ、絵カードや身振り、文字を使ったコミュニケーション手段を活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるよう支援を行います。 ・遊びの場面を通して、支援者が間に入り他者とのやりとりを見せることで関わることの楽しさや関わり方を習得できるよう支援します。 ・玩具等のやり取り等の場面から、社会性のある言葉と行動が身につけられるよう支援します。 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・話す、聞く、触れる等のコミュニケーションを通して、人との関係を意識しながら身近な人と信頼関係を築き、周囲の人と安定した関係が形成できるよう支援します。 ・個々の行動特性を理解し、気持ちや感情のコントロールが出来るよう配慮した声掛けや行動支援を行います。 ・集団遊びの時間を通して、順番やルールを守る、友達と協力する、失敗や負けを受け入れる等、集団生活に必要なスキルを身につけられるよう支援します。 ・友達との関わり方に関して、支援員が見本を見せたり助言を行ったりしながら、肯定的（誉めてもらう、認め合う）な関わりが増えるよう支援します。 ・個々の状況や状態に合わせて声掛けや調整を行い、成功体験を積みながら楽しく集団生活に参加できるよう支援します。 							
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・半年に1回、保護者面談を行います。家庭での状況や本人の状態等聞き取りを行い、困り事に対して助言等を行います。 ・年1回、家族の会を行い、他の保護者と交流できる機会を設けます。 ・ふれあい会にて親子同士で交流できる機会を設定し、一緒に活動を楽しみます。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等への訪問や受け入れの際に行った会議等を通じて、児童の心身の状況や生活環境等の情報連携を実施します。 ・就学時は必要に応じて学校と情報共有を行い、環境変化に伴う課題提示及び課題解決に向けた実践を行います。 						
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の成長を見据え、顔の見える連携が関係機関で図れるよう連携会議に積極的に参加し、情報収集や共有等、関係機関で役割等についての協議や確認を行います。 ・各関連機関からの情報に基づき、具体的な場面において関わり方や対応方法等の提案を行います。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急バス勉強会（2回/年）：緊急時の対応、心臓蘇生訓練等 ・e-ラーニング ・OFF-JT、新人研修、感染症対策等の内部研修の実施 ・法定研修(接遇、虐待防止、人権等) ・県社協のキャリアアップ研修 ・県外：日本重症心身障害福祉協会、心身障害児総合医療療育センター主催の研修等 						
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・季節行事（端午の節句、七夕、夏遊び、秋遊び、ハロウィン、クリスマス会、節分、ひな祭り等）、ふれあい会（親子療育） ・誕生日会 ・防災訓練（机上訓練、実施訓練）：1回/月 								